

小四書き ①

① となりのふじんは、けんこうのためまいにちあいけんをつれてさんぽにでる。

② とつぜんのでいでんが、とうやしょうめいがきえ、となりからろうそくをかりた。

③ ないてほうたいをしたこは、ごはんとしおでかたくにぎったうめおにぎりですずかになった。

④ こんせいきまでのたたかいのれきしとぐんたいやへいしのきろくをほかんするはくぶつかんがある。

⑤ とどうふけんのなかで、くやしいがいのところをぐんという。

⑥ かんじじてんには、かきじゆん、おんくんよみやれいぶんがあげられていてべんりだ。

小四書き ②

① がっしょうコンクールでは、なかまでとくべつなくんれんをうけ、まんぞくなけつかをえた。

② しょうてんがいにこうきょうのたてものがかんせいし、いんさつされたあんないずをもらった。

③ がいちゅうのどくからからだをなおすほうほうをつたえる。

④ いやちょうというきかんがきょうりよくしてはたらき、たべものをえいようにしていく。

⑤ ろうじんはまごのそつぎょういわいにぼうえんきょうをかうため、ちよきんからひようをだした。

⑥ ていがくねんでは、はつねつのためけつせきするじどうがぞくしゅつした。

小四書き ③

① しゅうまつにバスでいのおむかいがわにあるしよくどうであうことをやくそくした。

② えいこくでは、せんそうごもいるいははいきゅうで、ねんがんのしよくりようもふそくしていた。

③ さっぷうけいなそうこに、かいりようされたしんがたひこうきがおいてあった。

④ あるまつのきからちよっけいニメートルのあたりをほるときんかがみつかるにつげられた。

⑤ くるまがさせつするまえに、こうさてんのしんごうがかわった。

⑥ こなゆきがまうきせつには、つめたいかぜのなかでだいすきなやきぐりをたべる。

小四書き ④

① しけんのさいしよにしめいをかくと、こたえのしるしのつけかたをせつめいされた。

② ころうしたおわらいげいにんは、せいこうしてこくみんてきスターからだいじんになった。

③ いちまんえんさつをいちまんまいためたらいちおくえん、そのいちまんばいはいちょうえんだ。

④ さくねんはきこうやきしょうのへんかで、りくちでもすいがいがおおかった。

⑤ あさせかいすいよくをして、りょうをするひとやかんこうせんがこうかいするのをみた。

⑥ きぼうをもってさんかしたしゅもくのときょうそうだったが、にゅうしょうできずざんねんだった。

小四書き ⑤

① なのはなのたねがめばえたので、かんさつきろくをつけた。

② れいわのとうきょうオリンピックで、ごりんのはたのした、かくせんしゅたちがきよくいさましくきそった。

③ かだいともくひょうをたてるまえに、しっぱいのはんせいをせっきよくてきにすることがもとめられる。

④ とりは、ひつようなざいりょうをまわりからあつめてすをつくり、そのなかにたまごをうむ。

⑤ ひつじは、ぼくじょうのみかんせいなかこいをたんじゅんによるこんでそとへでた。

⑥ むじんかされたきかいでかいのさんみゃくをしらべる。